

## 久留米大学医学部（前期） 英語

2022年2月1日実施

1	1	2	3	4	5	6	7	8				
	(c)	(b)	(b)	(c)	(c)	(a)	(b)	(b)				
2	1	2										
	(c)	(d)										
3	(1)			(2)			(3)			(4)		
	1	3	6	1	3	6	1	3	6	1	3	6
	(e)	(f)	(d)	(b)	(a)	(e)	(d)	(a)	(b)	(c)	(e)	(a)
4	1.						2.					
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)						
	(a)	(c)	(b)	(a)	(d)	(b)	(a)	(c)	(g)			
5	1	2	3	4	5	6						
	(d)	(a)	(b)	(d)	(c)	(b)						
6	1. A music therapist in a Boston pediatric hospital helps children to ignore their fears about various procedures they undergo through music: for example, by playing instruments and singing songs together. (30) (別解) The person's job is to accompany young patients before, during and after medical checks, singing songs with them and relaxing them, which helps them not to be scared. (28)											
	2. 人間の睡眠は、人工の明かりの影響を考慮に入れても、月の周期に影響を受けていると、ある研究は示している。(51) (別解) ある研究によれば、人間の睡眠能力は、人工光の影響を考慮したとしても、明らかに月の周期に影響を受けている。(52)											

<解説>

1

- The community center in that area offers various kinds of learning opportunities, including language and music classes to its **(diverse)** population.  
「その地域のコミュニティセンターでは、語学教室や音楽教室など様々な学習機会が多様な地域住民に提供されている」
- Visiting the exhibition enabled us to **(interpret)** the author's thoughts, feelings and state of mind during her days in New Caledonia.  
「その展覧会に行くことで私たちは、ニューカレドニア時代の作者の考え、思い、そして心境を解釈することができた」

3. It is not surprising that more attention is being paid to the use of **(complementary)** and alternative medicine in Japan.  
「日本において補完医療及び代替医療に注目が集まっていることは驚くに当たらない」
4. My best friend was diagnosed with a serious disease, and her doctor suggested that she should take an advanced treatment aiming for complete **(remission)**.  
「私の親友が重い病だとの診断を受け、主治医はきちんと寛解させるために先進医療を受けた方がよいと提案した」
5. A new analysis of documents **(declassified)** by the French government has revealed that about 90% of people residing in French Polynesia were exposed to radioactive particles. It has had serious repercussions for the health of people living in the region.  
「フランス政府によって機密解除された文書を新たに分析することで明らかになったのは、仏領ポリネシアに住んでいる人の約 90 %が放射性物質に被曝しているということである。それによって地域住民の健康に深刻な影響が生じている」
6. It is a fairly common condition for people aged 40 or above, especially males, but the **(acuteness)** varies to a large degree.  
「それは、特に 40 歳以上の男性に非常によく見られる症状であるが、症状の程度にはかなり幅がある」
7. Becoming a veterinarian was his childhood dream. However, his allergic reactions to certain animals, such as rabbits and ferrets, **(discouraged)** him from pursuing his goal.  
「獣医になることが子供の頃からの彼の夢であった。だが、ウサギやフェレットなどの特定の動物にアレルギー反応があるので、彼は目標に向けて進むことを断念した」
8. English is now a mandatory subject for 5th and 6th graders in Japanese elementary schools. Students are required to develop not only their linguistic ability, but also their intercultural **(competence)** that enables them to think and act appropriately across cultures.  
「日本の小学校では、英語は今や 5 年生と 6 年生の必修科目である。生徒は、言語能力のみならず、文化の垣根を越えて正しく考え行動できる異文化理解能力をも高めることが求められている」

**2**

1. 本パラグラフの主題は「日本の医療制度における医療従事者への配慮の欠如」である。(c) の患者情報の保持は要旨とは無関係であるため、除外する。  
 <全訳> 日本は世界で最も成果を上げている医療制度を実現している。国の保険計画のもと、日本国民は、どんな医療施設でも選択でき、国内の最先端の医療を受けることができるのを当然のことと考えてきた。(a)しかしながら、そのような医療制度は献身的で自己犠牲を伴う医療従事者によって支えられているという事実にはほとんど注意が払われてきていない。(b)そういった過重な期待が、医師の数が依然少ない過疎地で特に高い。(d)加えて、一部の患者やその家族は、何であれ思いもよらぬ結果が医療過誤によって起こると考えがちなので、医師たちは医療訴訟のリスクに直面している。これらのストレスのかかる環境により、医療従事者は、燃え尽き症候群や鬱を含む健康障害を引き起こしうるのである。  
 (削除文) (c) 日本の法律では、病院は患者から得たすべての情報を一定年数保存しなければならないことになっている。

2. (d) は「アンケート未回答医師への追跡的な問い合わせの負担」について書いてあるが、直後に「統計を分析した」とあり、その後も関連性の調査における問題は発生していないことから、この位置に入るのは不適切であり除外する。

<全訳> 日本における国際化に伴い、外国人居住者の数が増加している。英語が話せて外国人の患者を進んで診る医師がいる一方で、それを嫌がる医師も多い。(a)この研究で我々は、日本人医師たちによる外国人の患者の診察を促す要因を明確にしようと試みた。(b)我々は日本の神戸市で日本人医師におけるアンケート調査を行った。(c)そのアンケート用紙は 172 人の医師に配布され、139 人から回答を得た。統計を分析した結果、外国人の患者を診察した頻度と留学経験との間に有意な関連性があることがわかり、我々の仮説が裏付けられた。留学経験を持つことと医師の英語能力に対する自己評価の間にも有意な関連性があった。しかしながら、外国人を診察する頻度と研究に関する英語の記事を読む頻度との間にはなんら優位な関連性は見られなかった。

(削除文) (d) 回答の得られなかった医師への追跡的な問い合わせが論文著者にとって大きな負担となった。

3

- (1) ( e ) ( a ) ( f ) ( c ) ( b ) ( d )

New research led by a University of Georgia faculty member in collaboration with a University of Southern California research group (**has shown in a rodent** model that daily consumption **of sugar-sweetened beverages** during adolescence impairs performance on a learning **and memory task during adulthood**).

「南カリフォルニア大学の研究チームと共同でジョージア大学の教授陣が主導した新しい研究で、青年期に毎日砂糖入り飲料を飲むことにより、成人期の学習と記憶力テストの成績が悪化することが、げっ歯類モデルで示された」

並び替えの箇所以前で、主語となる名詞句が完成しており、名詞句の中心は“New research”であるため、主文の動詞を (e) に含まれる“has shown”と設定する。“in a rodent”は目的語にならないため、(a)を続けることで“in a rodent model”の副詞句を完成させ、that 節を“has shown”の目的語とする。“of sugar-sweetened beverages”は“daily consumption”に続く要素である。that 節内の動詞として機能しうるのは“impairs”のみであり、(b)の“learning”と(d)の“memory”を並列することで“impairs”の目的語も完成し、「青年期に毎日砂糖入り飲料を飲むことは成人期の学習と記憶力テストの成績を悪化させる」となり文意が成立する。

- (2) ( b ) ( d ) ( a ) ( f ) ( c ) ( e )

Considering the role the hippocampus plays in a (**variety of cognitive functions** and the fact that the area **is still developing into** late adolescence, researchers sought to understand more about its **vulnerability to a high-sugar diet**) via gut microbiota.

「様々な認知機能において海馬が果たす役割と、青年期になってもその部位（海馬）が発達しているという事実を考慮して、研究者たちは、腸内の微生物相を媒介として、糖分を多く含む食事に対する海馬の影響の受けやすさについてさらなる理解に努めた」

“Considering”で始まる分詞構文を含む文であり、(f)の“researchers”が主文の主語になることから、その動詞として(c) sought to understand more about its が続く。さらに、それに続くものとして(b)の“variety ~”か(e)の“vulnerability ~”が考えられるが、並び替える箇所の直前が“in a”となっていることから、その直後に可算名詞を含む(b)“variety of cognitive functions”が続く。(d) and the fact that the area に接続詞 that が含まれることから、節内の動詞として(a) is still developing into を置く。前置詞“into”の目的語としては(f)の“late adolescence”と決まり、主文も確定する。

(3) ( d ) ( f ) ( a ) ( e ) ( c ) ( b )

A second memory task (measured basic recognition memory, a hippocampal-independent memory function that involves the animals' ability to recognize something they had previously seen).

「もう一つの記憶力テストは基本的な認知記憶を測定するもので、それは、以前見たことのある物を認識する動物の能力に関係している、海馬に依存しない記憶機能である」

まず、(e) the animals' ability to には動詞の原形で始まる (c) recognize something they が続く。さらに “they” が “animals” を受けることから、それに続くものとして (d) measured basic recognition では文意が合わない。なので (b) had previously seen が続く。また、(f) の “a hippocampal-independent” は冠詞と形容詞のため、無冠詞の名詞で始まる (a) memory function that involves が続き、その目的語として先ほどの (e) が続く。したがって、(d) の “measured” が冒頭の “A secondary memory task” の動詞となり、その後に (f) memory, a hippocampal-independent が続く。

(4) ( c ) ( b ) ( e ) ( f ) ( d ) ( a )

The (scientists claim that future research is needed to better identify specific pathways by which this gut-brain signaling operates).

「この脳と腸の間で行われるシグナル伝達が機能する特定の経路をより正確に識別するために、今後の研究が必要である、と科学者達は主張している」

最終段落第 1 文であり、かつ研究を主導した科学者達については過去の段落でも述べられているため、  
“The scientists claim that future research is needed” とすることでまとめの文章とする。次に続く副詞句を完成させる。(e) to better identify specific に続く名詞句があるのは、(a), (d), (f) だが、(a) signaling operates は “signaling” の直後に動詞があり、(d) this gut-brain を選ぶと、形容詞である “specific” の直後に指示代名詞である “this” が入ってしまう。そのため (f) を (e) の直後に置き、  
“to better identify specific pathways by which” とする。第 4 段落 5 行目の “To better identify the mechanism by which the bacteria impacted memory and learning” もヒントである。最終段落のその後の文章では、腸の細菌が脳の成長に与える影響について述べられているため、  
“by which this gut-brain signaling operates” を “pathways” を修飾する関係詞節とする。

4

(1) Earle Dickson's wife, for some reason or another, was always burning and cutting her fingers (by) accident in the kitchen.

「アール・ディクソンの妻は、あれこれの理由で、台所でいつもうっかりして指をやけどしたりけがをしたりしていた」

“by accident” は「偶然、たまたま、うっかりして」。“by chance” とも言う。

(2) Earle noticed that these small bandages soon fell off her fingers, and, being the sweet and loving husband that he was, he decided to invent something that would not only stay in place but also protect her cuts from (infection).

「アールは、こうした小さな絆創膏はすぐに妻の指からはがれてしまうことに気がついた。彼は優しく愛情深い夫であったので、はがれないだけでなく、傷を感染からも守ってくれるものを発明することを決心した」

他の選択肢は、(a) abruption 「剥離、突然の中断」、(b) direction 「指示」、(d) cremation 「火葬」である。

(3) He (carefully) cut out a narrow piece of gauze and placed it exactly in the middle of the adhesive tape.

「彼は、注意深く小さいガーゼを切り取って、粘着力のあるテープの真ん中に置いた」

(4) 絆創膏を作る作業に当てはまるのは、(b) carefully 「注意深く」。他の選択肢は、(a) mindlessly 「不注意に」、(c) offhandedly 「手に負えない」、(d) brutally 「乱暴に、残酷に」である。

When Earle showed his colleagues at work what he had made, they were equally (impressed).

「アールが仕事上の同僚達に自分が作ったものを見せたとき、同僚たちも同じように感銘を受けた」

二つ前の文の “Josephine loved her husband's gift” を受けて “equally” と述べている文なので、“loved” に近

い意味の“(were) impressed”を選ぶ。他の選択肢は (b) oppressed 「抑圧された」、(c) unfocussed 「焦点が定まっていない」、(d) nonplussed 「困っている、途方にくれて」である。

(5) Then, you would peel off the back, and stick it to the (wound).

「それから、背面をはがして、傷にそれを貼り付けていた。」

“wound” には「怪我をさせる」という動詞以外に「傷」という名詞の用法もある。他の選択肢は、(a) gauze 「ガーゼ」、(b) fabric 「生地」、(c) dressing 「覆い、包むもの」である。

(6) (Whenever) someone got round to cutting a finger or grazing a knee in the household, they had it in their first aid kit to try out.

「家庭で指の切り傷や膝の擦り傷の手当をするときはいつでも、応急処置キットにそれが試せるよう入っていた」

2つの節をつなげる語で、意味のあうものは (a) whenever 「～するときはいつでも」のみである。

2.

(a) To keep the bandage clean, Earle used a type of fabric called crinoline.

「絆創膏を清潔に保つために、アールはクリノリンという種類の生地を使った」

第4段落最終文 “Then, to keep the contusion sterile, he simply covered the back with crinoline.” が根拠となる。

“contusion” は「打撲傷」。“sterile” は、「無菌の」。

(c) Cuts were once dressed with patches of cloth and adhesive tape.

「切り傷は、以前はあて布と粘着力のあるテープで覆われた」

第2段落第3文の “So for each nick and cut on both her hands, Josephine Dickinson applied a small patch made of cloth and adhesive tape.” が根拠となる。

(g) The first type of Band-Aid required users to cut off what they needed.

「最初の型のバンドエイドでは、使う人が必要な分を切り離す必要があった」

第6段落第4文 “You simply cut off the exact amount of what you needed to cover the cut, graze, or scrape.” が根拠となる。第6段落第2文にある “long tape” にも注意したい。

5

1. (d) Barry Smith might have received better treatment if the diagnosis had been correct.

問題文は、「下線部(1)『医師が正しければ良かったのだが』が意味するものは何か」である。第1段落第1文から第3文では、バリー・スミスがパーキンソン病と診断される18年も前に嗅覚を失ったこと、続く第4文では、診察した医師が嗅覚の喪失の原因をスキューバダイビングと診断したことが書かれている。また下線部(1)は仮定法で書かれていることから、実際には医師の診断は正しくなかった、つまりスキューバダイビングを原因とする診断は誤りであったことが分かる。従って、下線部(1)の具体的な意味は「正しくパーキンソン病と診断されていれば良かったのに」ということになる。パーキンソン病と早期診断されていれば、当然その分だけ早く治療を開始することができるのであるから、(d) を選択すべきことがわかる。

2. (a) Smell loss generally precedes neurodegenerative diseases.

問題文は、「第2段落の内容が示しているものは何か」である。同段落第3文の後半には “almost half of older adults diagnosed with dementia showed signs of smell loss five years earlier” 「認知症と診断された年配者のほぼ半数が、その5年前に嗅覚消失の兆候を示していた」と書かれており、また、“dementia” は選択肢の “neurodegenerative diseases” の一例であることから、「一般的に嗅覚消失は神経変性疾患よりも先に起こる」という内容の(a)は正しい。<X precede Y>で「XはYに先行する」という意味である。

**3. (b) It may contribute to putting off the development of Parkinson's disease.**

問題文は、「特定の病気のマーカーとして無嗅覚症を使うことで、期待できることは何か」である。第3段落第1文には「昔はパーキンソン病のマーカーとして重視されていなかった無嗅覚症も、今では診断の手段として大きな利点があると見込まれている」とあり、無嗅覚症がパーキンソン病を診断する際のマーカーとしての有用性が書かれている。そして、同段落第3文の「当時、正確な嗅覚検査があったら、正式に診断が下されるおよそ20年も前にパーキンソン病であると特定されたであろうし、それによって彼は病気の進行を遅らせる時間がもっととれたであろう」という内容の仮定法の文から、無嗅覚症をパーキンソン病のマーカーとして利用することで病気の早期発見に繋がり、その分進行を遅らせることができるということがわかる。

**4. (d) Tests could hinder the sense of smell in some patients who are unconscious of losing it.**

問題文は、「以下の記述のうち、嗅覚検査について正しくないものはどれか」である。選択肢(d)の意味は「検査は、嗅覚が失われたことに気づいていない一部の患者の嗅覚の妨げとなる」であるが、本文にそのような記述は無い。

**5. (c) Financial discrepancies between private and public health institutions impede overall implementation.**

問題文は、「嗅覚検査実施に関する問題の一つは何か」である。第6段落第1文では嗅覚検査の費用が高額であることが指摘されており、同段落第3文では「個人病院では検査費用が実施の妨げにはなっていないかもしれないが、財政資源が限られている公的医療機関にとっては、費用の面で検査の有用性が制限されてしまっている」と書かれている。従って、選択肢(c)の「民間病院と公立病院との間の財政上の相違が検査の全面実施の妨げになっている」という内容と一致する。“discrepancy”「相違、食い違い」と“impede”「妨げる、邪魔をする」は受験生にとっては難しい単語であろう。

**6. (b) It should be noted that losing one's sense of smell may have psychological as well as neurological causes.**

問題文は、「以下の文のうち、著者の考えに最も合致するものはどれか」である。第7段落第1文では、嗅覚障害の発症原因は神経変性疾患だけとは限らないということが述べられており、同段落第3文では、嗅覚消失が鬱や統合失調症、ジストニアといった精神的な疾患と関連している可能性が指摘されている。従って、嗅覚の消失には神経的な原因だけでなく心理的原因もあるということに注目すべきであるという内容の選択肢(b)は正しい。

**6**

1. 求められているのは音楽療法士の職務内容であるから、本問は単純な要約にならないように気をつけた。和文の内容より「音楽を用いて検査を受ける子供たちの不安を緩和すること」が解答の核となるが、これだけだとやや語数が少なくなるので、具体例の部分を簡潔にまとめて答案に盛り込むとよいであろう。語数の条件については昨年と同様に30語程度となっているので、27～33語の範囲に収めるのが望ましい。
2. 新聞記事から抜粋した英文を読み、要点をまとめる問題である。第2段落の第2文が記者の伝えたい研究内容であり、「人間の睡眠は人工光の影響を考慮に入れたとしても月の周期による影響が大きい」ことをまとめたい。なお、本問も昨年と同じく50字程度の指定になっているので、45字から55字の範囲内で答案を作成するようにしたい。

## 講評

- |   |          |       |  |
|---|----------|-------|--|
| 1 | [文法四択]   | (標準)  | 8 問中 6 問は標準的な単語の問題，残り 2 問も文脈からの消去法で正解を導き出せる。 |
| 2 | [不要文排除]  | (易)   | 推薦入試では大幅な難化をしたが，昨年度前期と同等の難易度である。             |
| 3 | [文中語句整序] | (標準)  | やや判断に迷う問題もあるが，品詞・文構造を丁寧に意識したい。               |
| 4 | [長文総合]   | (やや易) | 「バンドエイド開発の背景」に関する英文。語彙も文章内容も標準的。             |
| 5 | [長文内容一致] | (やや難) | 「神経変性疾患と嗅覚消失との関わり」に関する英文。やや難化。               |
| 6 | [要約]     | (標準)  | 指定の字数，語数に余裕があり，表現には幅が出ると思われる。                |

全体としては昨年度前期と同じくらいの難易度。目標は 70%

本解答速報の内容に関するお問合せは

医学部専門予備校

**英進館メビオ** 福岡校

医学部進学予備校  
**メビオ**

☎ 0120-146-156  
<https://www.mebio.co.jp/>

☎ 0120-192-215 受付 9:00~21:00(土日祝可)  
福岡市中央区渡辺通4-8-20 英進館 天神本館新2号館2階  
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

医学部専門予備校  
**YMS**  
YOUTH MINDS STUDY

☎ 03-3370-0410  
<https://yms.ne.jp/>



無料登録で全科目を閲覧！  
**メールマガジン**  
◀ 英進館メビオのメルマガ登録はこちらから